

# 丸朝園芸農業協同組合 組合法人化60周年を迎えました

誕生から現在にいたるまで

昭和24年当時、この地方の作物は米・麦が中心で、その販売は総合農協へ委託し、イモ類・落花生などは業者任せの販売をしていました。シベリアから復員直後の手島正爾氏（組合創立者・初代組合長）が、里芋やさつま芋が仲買業者に買い叩かれていた現状を憂い、数人の有志と共に東京市場に共同出荷し、想像以上の成果を得たのがこの組合の始まりです。

昭和28年には、任意組合の『丸朝組合』を結成。逐次同志を拡大すると共に、野菜の種類・生産量を増やしていきました。昭和26年に27名であった同士も、昭和39年には、芝山町を中心に、近隣二市五町にわたり、700名を超える組織に発展しました。その為、対外的な信用保持と運営の健全化のため、組合の法人化をはかり『丸朝園芸農業協同組合』が誕生し、今日に至ります。

誕生から70年以上経過した中で、生産される作物もその時代時代に即したものとなり、土物から徐々に果菜類に移行し、現在の主力品目は、西瓜・人参・トマト・南瓜・花きとなっています。



## あとがき

◆山武郡市のスポーツ大会で、芝山町の出場選手が猛暑に負けず、激戦を繰り広げていました。一生懸命に戦う姿はとてもかっこよかったです。この様子は、来月号でお届けします。◆パリオリンピックでは、リアルタイムでの観戦は難しかったのですが、やはり日本の選手が健闘したという情報を耳にすると、うれしいものです。4つの新種目でも日本人選手の活躍に子どもを未来を少しだけ重ねてみたりして、うちの子はどんなスポーツに熱中できるのかと、希望をもらえた気がします。◆朝晩は少し涼しさを感じるようになりましたが、引き続き体調管理にお気をつけください。(Y)

◆今月号はイベントが多く、消防ポンプ操法大会、エレベーターアート企画、夏祭り、総体と盛りだくさんの内容で、取材にも多く行く事ができました。◆今回の表紙にもなった、消防ポンプ操法大会では役場消防隊の補助員として出場しました。訓練開始から本番まで連日の猛暑との戦いの日々がようやく幕を閉じました。操法大会を通して、心身共に成長できたと思います。◆九月といえば、やはり台風季節。先日の台風7号は、被害こそ少なかったものの、停電する地域などがありました。まだまだ台風が接近することが考えられますので、停電になった時の食料や水の準備は早めに行うようにしましょう。(D)